

SPSS コミュータライセンスの利用

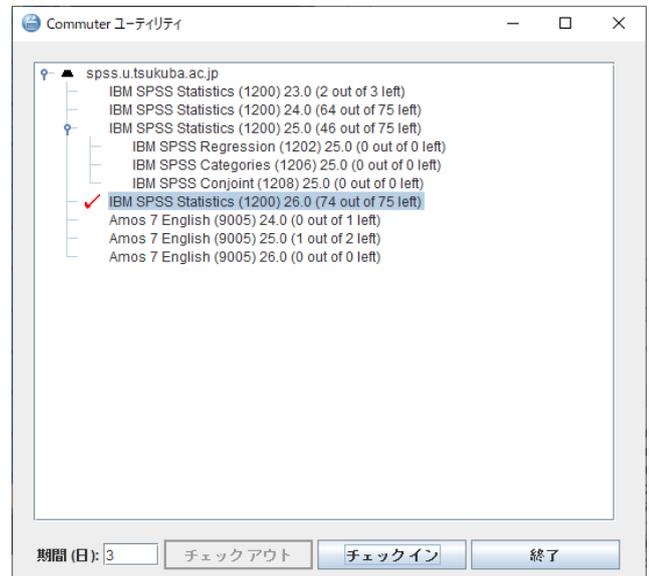
SPSS の起動には学内ネットワークへの接続が必要ですが、ライセンスをチェックアウト(借用)することでネットワークに接続できない場所でも SPSS が使えるようになります

* 学内ネットワークに接続した状態で設定します

1. スタートメニュー (すべてのアプリ) から「IBM SPSS Statistics」> 「IBM SPSS Statistics 26 コミュータライセンス」を実行

2. Commuter ユーティリティ画面が表示されます。

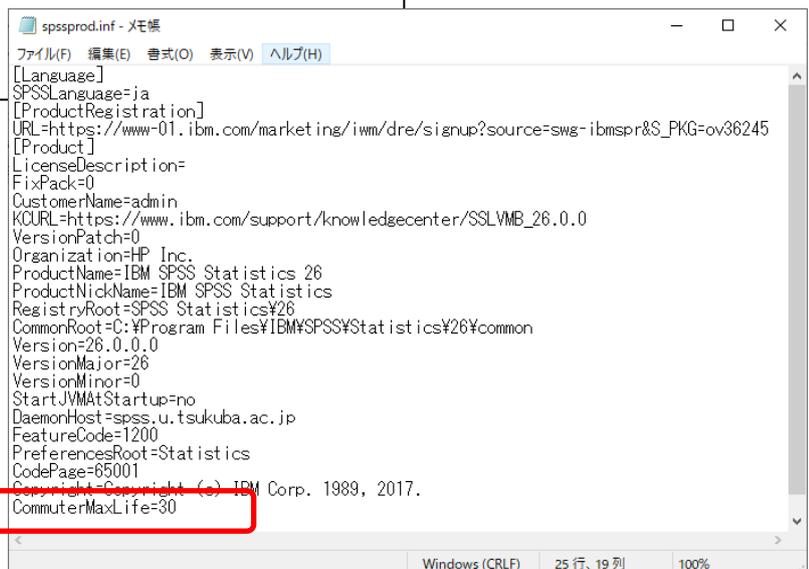
使用している SPSS のバージョンと同じ「IBM SPSS Statistics…」を選択して「チェックアウト」をクリックする。借り出しに成功すると文字列の先頭に赤いチェックマークが付くので「終了」をクリックする。(既定値では3日間、最大7日間借り出しが可能です。7日間借り出すには、期間欄を「3」から「7」に変更してから「チェックアウト」を実行すること。)



参考

借り出し期間はインストールの既定値として7日間に制限されている。以下の方法でクライアントPCの設定を変更することで最大30日のチェックアウトが可能となる。ただし、この場合でもチェックアウト時に期間の数値を明示的に変更すること。

1. インストールディレクトリにある spssprod.inf ファイルを開きます
ex) ローカルディスク (C:) ▶ Program Files ▶ IBM ▶ SPSS ▶ Statistics ▶ 26
2. CommuterMaxLife の値を 30 に書き換えてください
3. ファイルを保存してから閉じます



保存できない場合は、spssprod.infのプロパティにある「セキュリティ」タブを確認してください。そのPCにログインしているユーザ名での書き込み権限がないために拒否されています。そのユーザの書き込みを「許可」にしてください。